

山 形 県 S D G s 推 進 本 部 会 議

日時：令和 8 年 7 月 14 日 (火) 10:40～

(直前の会議の終了時刻により前後)

会場：県庁 502 会議室

次 第

1 開 会

2 本部長あいさつ

3 議 事

本県における S D G s の推進について

4 閉 会

【配付資料】

資料 1 持続可能な「やまがた」に向けて ～ S D G s × 山形県～

資料 2 持続可能な開発目標 (S D G s) に関連する主な取組み【令和 8 年度】



SDGsとは

- SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のあるよりよい社会の実現に向け、2015(平成27)年の国連サミットで採択された世界共通の目標で、2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲット、約230の指標例で構成。
- 本県では、第4次山形県総合発展計画において、県づくりの基本方向として「県民一人ひとりの希望を実現して、真の豊かさ、生きがい・幸せを実感でき、持続的に発展する“新しいやまがた”の創造」を掲げており、これはSDGsの理念と合致するものであることから、計画に掲げる各種施策の推進を通して、SDGsの達成に貢献していくこととしている。

本県のSDGs推進体制等

○ SDGsの推進に向けた共同宣言【R2. 8月】

- ・ 県、山形大学、山形新聞社の三者でSDGsの考え方に基づき、人と自然の調和のもとで県民誰もが真の豊かさと幸せを実感できる山形県づくりを目指し、互いに連携して行動していくことを宣言。

○ やまがたSDGs推進ネットワークによる情報発信【R2. 8月～】

- ・ 上記の共同宣言に基づき、情報発信・交流の場となるプラットフォームをフェイスブック上に開設（山形新聞社、山形大学が共同して管理運営）。

○ 山形県SDGs推進本部の設置【R3. 7月】

- ・ 知事を本部長に、全庁一丸となってSDGsの実現に向けた取組みを展開するため、推進本部を設置。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能なやまがたの
未来のために…

SDGs推進に向けた令和8年度の主な取組み

○ 「やまがたSDGs推進月間」（令和8年9月19日（土）～10月18日（日））【R4～】

- ・ 国連開発計画（UNDP）等によって設定されたSDGs週間※を含む1か月間を、本県独自の「やまがたSDGs推進月間」と設定し、期間中、官民が一体となって集中的に周知・広報等を行うことで、県民・県内事業者の主体的な取組みを促し、県全体でSDGs達成に向けた機運を醸成。
- ※SDGsが国連で採択された9月25日を含む約1週間（令和8年度は9月19日～27日）で、SDGsの推進と達成に向け、世界各地で様々なイベント等が開催。

《「やまがたSDGs推進月間」における主な取組内容》

- ・ 県SNSでの情報発信等、全庁を挙げた周知広報
- ・ 市町村広報誌等での周知広報
- ・ 民間事業者等との連携・協力事業

県による取組み

○ 県職員による出前講座の実施【R3～】

- ・ 各種団体で、県職員によるSDGsに関する県出前講座を実施。

○ 県HP、SNSによる情報発信【R3～】

- ・ 県HP「山形県におけるSDGs推進について」及びSNSにより、SDGsに関する各種情報を発信するとともに、啓発チラシを掲載。

○ 高校生を対象としたSDGs推進アイデアコンテストの開催【R6～】

- ・ 「高校生アイデアコンテスト」に「SDGs普及部門」を設け、県民のSDGs理解促進・意識向上に資するアイデアを募ることで、高校生がSDGsをより深く考える機会を創出。
- ・ 東北芸術工科大学の学生による伴走型支援により、アイデアの磨き上げを行う。

民間事業者等との連携・協力事業

○ モンテディオ山形ホーム戦のSDGsブースでの啓発【R4～】

- ・ SDGs専用ブースをスタジアムに設置し、来場者への普及啓発を図る。

○ 県内メディアの気候変動対策キャンペーン「1.5℃の約束」への協賛【R5～】

- ・ 「1.5℃の約束」は、国連広報センターとメディアが共同で推進するキャンペーン（令和4年開始）。パリ協定で掲げられた、産業革命前からの気温上昇を「1.5℃」に抑える努力目標の達成に向け、積極的にメディア発信することとされている。県内メディアのキャンペーンに協賛し、SDGsの普及啓発を図る。

○ 自治体職員向けSDGs研修の実施【R5～】

- ・ SDGsの視点を踏まえた政策形成能力の向上を図るため、リコージャパン株式会社から講師を迎え、自治体職員を対象としたリスクリテラシー研修を開催。また、県や市町村が取り組むSDGs推進に向けた最新事例の紹介・研究を行い、優良事例の横展開を図る。

○ 株式会社セブン・イレブン・ジャパンと連携した普及啓発【R7～】

- ・ 「やまがた環境展2026(10月17日、18日)」において、食品ロス削減を呼びかける「手作りポップ」をこどもが作るイベントを実施。作成したポップはセブン・イレブン一部店舗の売場に掲示予定。

○ 県内大学生と県内企業の若手社員によるSDGsワークショップの実施【新規】

- ・ 県内大学生と県内企業の若手社員を対象に、山形の地域課題に対応した具体的な解決策や斬新なアイデアを創出するワークショップを開催し、参加者の問題意識と主体的な行動を促進する。（山形新聞社主催）

持続可能な開発目標(SDGs)に関連する主な取組み【令和8年度】

◎：新規 ●：拡充 ○：継続



- こども食堂等のこどもの居場所づくりに取り組む団体への立上げ・運営経費への支援や県産米の提供
- 低所得世帯を対象とした冬の灯油購入や熱中症予防のためのエアコン設置に対する支援
- 生活困窮者等に対して食料品等を提供するフードバンク活動への支援



- ◎水稲新品種「ゆきまんてん」の導入に向けた種子生産体制の整備や販売流通対策の実施
- ◎衛星データを活用した農地情報の「見える化」による農地集積・集約化の促進
- 就農準備・初期段階における新規就農者への資金や機械・施設等整備への支援
- ◎農工連携によるさくらんぼに特化したスマート農業機器の開発の推進



- 西村山地域の新病院整備に向けた基本設計及び開院に向けた体制整備の推進
- 診療所の承継・開業支援や勤務環境改善支援等による医師・看護師の確保
- ◎訪問介護事業所が存在しない地域における訪問介護体制整備の推進
- ◎県独自の健康経営優良事業所認定制度の創設による健康経営の推進



- ◎小・中学校における学力のデータ分析や分析結果に基づく教員の指導力向上への支援
- ◎県立夜間中学の令和9年4月開校に向けた教育課程の編成及び必要物品の整備
- ◎県立米沢女子短期大学の令和9年4月からの男女共学化などの魅力向上に向けた取組みの推進
- メタバースを活用した不登校児童生徒への支援



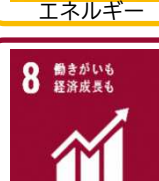
- 女性非正規雇用労働者の正社員転換に対する支援金の支給
- 「やまがたスマイル企業認定制度」による企業のワーク・ライフ・バランスや女性活躍等の推進
- 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消に向けた啓発
- 若年女性の県内定着及び女性の活躍を促進するための交流会「Yamagata Women's Link」の開催



- ◎調査によって緊急性が高いと判定された下水道管路の改築工事の実施
- 水道用水供給事業施設における大規模改修の実施
- 市町村等水道事業者等への衛生管理の指導や山形県水道広域化推進プランに基づく広域連携の推進



- ◎米沢市丹南地点における県の砂防堰堤を活用した新たな小水力発電所の建設
- 洋上風力発電の建設拠点となる酒田港の埋立護岸、ふ頭用地等の整備
- 水素エネルギーの利活用に関する実証事業を行う事業者への支援
- 再エネの地産地消を目的とした家庭・事業所における再エネ設備の導入への支援



- ◎「年間売上 100 億円以上」を達成する企業の拡大に向けた支援
- ◎医療系スタートアップの創出に向けたラボの整備や実証事業の展開
- 障がい者就労継続支援事業所の工賃向上に向けた取引拡大の促進
- 地域課題解決型ビジネス創出の全県の支援体制の構築



- 公共土木施設の長寿命化対策、劣化状況に応じた効果的な道路舗装のメンテナンスの実施
- 米沢トンネル（仮称）の早期実現や鉄道沿線活性化と利用拡大につながる取組みの推進
- 山形・庄内空港の機能強化に向けた「空港将来ビジョン」の策定と概略設計等の実施
- ◎イノベーション創出に取り組む産学官連携拠点の設置・運営



- 多様性が尊重される社会づくりに向けた県民の理解促進
- 「こども会議」等を通じたこども・若者が意見を表明できる機会の確保
- ◎視覚障がい者や外国人等に配慮した音声（多言語）による災害情報提供サービスの導入
- ◎歩行訓練士の配置による視覚障がい者に対する支援体制の整備



- 住宅の耐震改修及び減災対策への支援の強化
- 地域における防災学習の充実・強化のための防災士養成研修講座の定員の拡充（教職員枠の新設）や小中学生向け及び大人向け防災テスト（WEB）の実施
- ◎関係人口の創出・拡大に向けた市町村との連携体制の構築及び情報発信の強化



- プラスチックごみ削減に向けたマイボトルの利用促進
- やまがた環境展の開催等による3Rを推進する人材の育成
- ◎循環経済への移行に向けたセミナー・ワークショップの開催による、製造業者や廃棄物処理事業者など多様な主体間の交流・連携の促進



- 激甚化・頻発化する豪雨災害を踏まえた治水対策・土砂災害対策の推進
- ◎県民のCO₂排出量の「見える化」と脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促すプロモーションの実施
- 高温下でも品質の良い水稻、さくらんぼ、ぶどう等の山形県オリジナル品種の開発



- 海岸清掃ボランティアの人材育成と確保の促進
- 飛鳥を舞台とした環境教育事業の実施及び漂着物の回収
- 持続可能なサケ・マス資源の確保に向けた、関係者が一体となったふ化放流と資源管理の推進
- 岸壁及び防波堤の耐震・耐津波機能の強化、水産資源の増殖場の造成



- ◎県民の生命と安全・安心を守るための山形県版クマ被害対策パッケージの実施
- オオシラビソ林の再生活動拡大に向けた計画の策定
- 庄内海岸林の松くい虫被害対策強化と徹底防除の推進
- 山岳環境保全活動の担い手確保に向けた保全体験ツアーの開催



- ◎戦争の記憶継承に係る調査・検討や若い世代との連携による記憶継承のモデル事業の展開
- 「やまがた性暴力被害者サポートセンター（べにサポやまがた）」の運営
- 匿名・流動型犯罪グループによる特殊詐欺、強盗等の被害から県民を守る対策の推進
- 若年者や高齢者等への消費者教育の展開



- 人口減少対策の推進に向けた産業・教育・金融・労働・言論・行政などの各界の代表者が一堂に会し議論する「やまがた未来共創会議」の開催
- 産学官金で組織されたコンソーシアムとの連携による、県内各分野のデジタル化に向けた普及啓発及び人材育成



- SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015 年に国連で採択され、世界が合意した 17 の「持続可能な開発目標」
- 第4次山形県総合発展計画の基本目標の考え方は、SDGsの理念と軌を一にするものであり、同計画を推進することにより、SDGs実現に貢献していく